

2020年度 日本工学院八王子専門学校											
A I システム科											
インターンシップ 2											
対象	1 年次	開講期	後期	区分	選	種別	実習	時間数	150	単位	5
担当教員	インターンシップ先担当者			実務経験	有	職種	IT関連職種				
授業概要											
一定期間企業などの研修生として働き、自分の将来に関連のある職業体験を行う。											
到達目標											
学生が在学期間中に自らの専攻や将来のキャリアに関連した就業体験を行い、実践的な体験と動機づけにより将来の企業人を育成することを到達目標とする。具体的には、企業における仕事の流れと仕事の進め方を理解すること。企業の組織構造、および組織における人間関係やルールを理解すること。学校で学んだ知識が社会でどのように活かせるかを確認し、今後の学習への動機づけをすることを目標とする。											
授業方法											
インターンシップとは「就労体験」のことである。長期インターンシップの期間は3週間～4週間が多い。学校の授業で学習した内容を活かす場でもあり、実践的なカリキュラムが各企業で実施される。実習は、受入先企業、あるいはそのユーザ先企業の社内となっている。最終的な評価については各企業の担当者の方に依頼する。											
成績評価方法											
授業内容の理解度、実施内容について評価する。積極的な授業参加度、授業態度によって評価する。											
履修上の注意											
インターンシップ開始前に担当教員と顔合わせに行く。また、インターンシップ活動賠償責任保険に事前に参加すること。勤務時は受入先から特に指定がない場合は原則、スーツを着用する。期間中に電車遅延や体調不良で遅刻・欠勤する場合は必ず電話連絡すること。無断欠勤や勤務時の態度が悪い場合は、インターンシップを中断する可能性がある。その他、社会人として必須のマナーを守ってインターンシップに参加すること。											
教科書教材											
配布資料											
回数	授業計画										
第1回	挨拶（受入先企業を訪問して顔合わせを実施する。）										
第2回	オリエンテーション（会社概要、就業規則及び情報セキュリティの説明、実習の内容などを理解する。）										
第3回	インターンシップ参加(1)（他の参加学生と交流しながらグループワーク中心に実習を体験し、協調性などを身に付ける。）										

2020年度 日本工学院八王子専門学校	
A I システム科	
インターンシップ 2	
第 4 回	インターンシップ参加(2) (他の参加学生と交流しながらグループワーク中心に実習を体験し、協調性などを身に付ける。)
第 5 回	インターンシップ参加(3) (他の参加学生と交流しながらグループワーク中心に実習を体験し、協調性などを身に付ける。)
第 6 回	インターンシップ参加(4) (他の参加学生と交流しながらグループワーク中心に実習を体験し、協調性などを身に付ける。)
第 7 回	インターンシップ参加(5) (他の参加学生と交流しながらグループワーク中心に実習を体験し、協調性などを身に付ける。)
第 8 回	インターンシップ参加(6) (他の参加学生と交流しながらグループワーク中心に実習を体験し、協調性などを身に付ける。)
第 9 回	インターンシップ参加(7) (他の参加学生と交流しながらグループワーク中心に実習を体験し、協調性などを身に付ける。)
第 1 0 回	インターンシップ参加(8) (他の参加学生と交流しながらグループワーク中心に実習を体験し、協調性などを身に付ける。)
第 1 1 回	インターンシップ参加(9) (他の参加学生と交流しながらグループワーク中心に実習を体験し、協調性などを身に付ける。)
第 1 2 回	インターンシップ参加(10) (他の参加学生と交流しながらグループワーク中心に実習を体験し、協調性などを身に付ける。)
第 1 3 回	インターンシップ参加(11) (他の参加学生と交流しながらグループワーク中心に実習を体験し、協調性などを身に付ける。)
第 1 4 回	インターンシップ参加(12) (他の参加学生と交流しながらグループワーク中心に実習を体験し、協調性などを身に付ける。)
第 1 5 回	成果報告会の実施 (各企業で成果報告会の実施、報告書の作成などを実施する。)